

No.18

2026年
5月1日発行

～絆をつなぐ、未来へつなぐ～

愛知医科大学看護学部

同窓会会報



会長挨拶

看護学部同窓会
会長 藤澤 恵児 (第9期生)



愛知医科大学看護学部同窓会会員の方々、及び関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
日頃から、愛知医科大学看護学部同窓会活動にご理解とご協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。

看護学部同窓会では、ホームカミングデーの開催をはじめとし、ミニレクチャーの開催、オープンキャンパスへの協力など、卒業生との関わり以外にも大学との協力、看護学部へ入学を考えている高校生との関わり、在学生への支援など入学前から卒業後まで幅広く関わりを持っています。今年度も、大学のInstagramを用いたSNSの活用やHPの定期的な更新など、どこにいても会員の皆さまに同窓会の活動を知っていただき会員の皆様に根付いていくことができる活動を継続していきたいと思っています。

定期総会(年に1回)は、Zoomと会場でのハイブリッドの開催で遠方の方もご参加いただけますので、是非ご参加いただき会員の皆さまのご意見を伺えましたら幸いです。

看護学部同窓会が、卒業生からも在校生からも、また入学前の高校生の方にも少しでも身近な場所と感じてもらえるよう役員一同取り組んで参りたいと思っております。本年も皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年度 定期総会案内

開催日時 **令和8年 6月20日(土) 11:00~**
開催方法 **対面及び遠隔のハイブリッド開催**
回答期限 **令和8年 6月10日(水)まで**

出欠確認は、以下のフォームに入力をお願いいたします。
【URL】<https://amukandou.jp/news/2849/>

※ご入力いただいたメールアドレス宛に、ZoomミーティングのID・PW等を送付いたします。



メーリングリスト 登録のお願い

同窓会では、会員の皆さまに向けて、イベント情報や同窓会からのお知らせなどをメールでお届けするメーリングリストを運用しています。未登録の方は、QRコードから登録手続きをおお願いいたします。ぜひこの機会にご登録いただき、同窓生同士のつながりを深めましょう。



・ 会費納入のお願い ・

本会は、皆様方からの会費により運営されています。
今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、皆様のご協力が必要となりますので、会費(終身10,000円)未納の方は至急振込をお願いいたします。

※1 ATMからの振込にあたっては、振込人氏名欄に入力する氏名の前に、必ず「学籍番号」を入力してください。
(例) ATM振込人氏名欄 123456アイチハナコ

※2 なお、学籍番号が不明な方は同窓会事務局までご連絡ください。

会費
振込
先

口座名 三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金
口座名義 愛知医科大学看護学部同窓会
口座番号 0004390

実習・演習指導員 募集!

同窓会では、**母校の教育活動にご協力いただける実習・演習指導員を募集**しています。
同窓生の皆さまのご経験を、学生たちの実践的な学びの場で活かしてみませんか。
詳細はQRコードからご確認ください。





令和7年度 卒業生代表挨拶

令和8年3月7日、私たち第23期生は、無事に卒業の日を迎えることができました。これもひとえに先生方、職員の皆さま、そして関係する多くの方々のご支援とご指導のおかげです。心より感謝申し上げます。

また、卒業を記念して3月11日には、名古屋マリオットアソシアホテルにて、「卒業パーティー」を開催することができました。本会は、第1期生から続く伝統ある催しを受け継ぎつつ、従来の「謝恩会」から昨年度新たに「卒業パーティー」として生まれ変わり、今年度はその2年目として開催されたものです。教職員の皆さまと卒業生がともに卒業を祝い、新たな門出を祝福する、たいへん思い出深い会となりました。当日は、先生方との再会や学生同士の交流を通して、改めて看護学部で過ごした4年間の重みを感じる時間となりました。

この「卒業パーティー」の開催にあたっては、看護学部同窓会より多大なるご助成を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。皆さまの温かいご支援のおかげで、私たちの門出にふさわしい、思い出深いひとときを迎えることができました。

私たちは今後、それぞれの道に進みますが、同窓生として母校との絆を大切に、誇りを持って歩んでまいります。

最後になりますが、これまで支えてくださった全ての皆さまに感謝申し上げ、愛知医科大学看護学部の更なる発展をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年度卒業生代表挨拶 第23期生
岡副瑛里華、加藤美夢、金村春花、齋藤瑞季、榊原萌加、松野葉香

第13回
令和7年 11月1日(土)
13時30分～15時30分 開催

りぼんの会レポート



保健師として就業する卒業生の会

13回目の「りぼんの会（保健師として就業する卒業生の会）」を、看護学部棟において開催いたしました。参加者は、卒業生21名、保健師課程の3・4学年次生6名、教員3名の計30名でした。

会の運営は18・19期生が中心となり、職場紹介やアイスブレイク、フリートークを交えての交流を行いました。保健師として就業する卒業生同士が情報交換するだけでなく、保健師としての就職が決定している保健師課程の4学年次生や今後保健師としての就職を考えている保健師課程の3学年次生も加わり、様々な年代の卒業生と在学生在が「つながる場」になっていました。終始、笑顔と話し声が絶えない楽しい時間を過ごすことができました。看護学部同窓会からの支援に、心から感謝いたします。



令和7年
8月2日(土) / 8月3日(日)

オープンキャンパスに同窓生が参加!



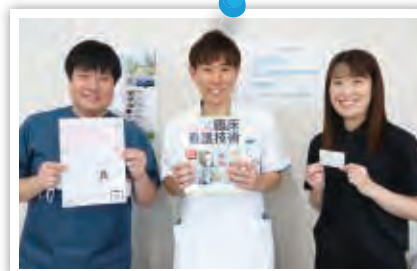
～現場のプロが語る! 卒業生のリアル～

2日間にわたり愛知医科大学看護学部オープンキャンパスが開催され、同窓会として、昨年に引き続き参加協力をしました。

会場内の「相談会コーナー」では、在學生や教職員のブースと並んで、同窓生による卒業生ブースも設置されました。

当日は、教員、診療看護師(NP)、訪問看護師、認定看護師、病棟看護師など、様々な現場で活躍している卒業生が参加し、現場で活躍する卒業生ならではの視点から、看護職の実際やキャリア形成についてのアドバイスを行いました。こうした“プロ目線”のリアルな声は、在學生や教職員の説明とはまた違った角度からの相談となり、高校生や保護者の皆さまにとって貴重な学びの機会となったことと思います。

今後も同窓会として、看護学部の学生募集に貢献し、将来の看護師を育てる一助となれるよう努めてまいります。



令和7年
9月19日(金)18時～
立石プラザ3階にて開催

◆ ホームカミングデーを開催! ◆

～つなげる記憶 つなげる仲間 未来への力に～

9月19日(金)にホームカミングデーを開催しました。当日は令和6年度卒業生、教職員、同窓会理事が集い、食事を囲みながら近況を語り合い、学年や立場を越えてつながりを深めました。

プログラム前半は、藤澤同窓会長及び若杉学部長の挨拶に続き、「先輩からのリレートーク」を実施。現場で役立つコツ、1年目を乗り切る工夫、入職後のキャリア展望などをショートリレー形式で共有し、明日から実践できる具体的なヒントが多数寄せられました。

後半は、卒業生と教職員が同じテーブルで協力するグループ謎解きゲームを実施。同じ課題に向き合う中で自然と対話が生まれました。締めくくりには当日のハイライト動画を上映し、会場全体で今日の出会いと学びを振り返りました。

参加者からは、「先輩の実例が背中を押してくれた、明日から試したい」、「同じテーブルで協力したことで相談しやすい関係ができた」、「配属も勤務も違うけれど、困った時に頼れる人が増えた」といった声が寄せられました。今回のホームカミングデーが、日々の看護を支える“仲間の輪”をさらに強くする機会となりました。



令和7年
10月25日(土)13:30～



＼出張ケアで育む/ ママと赤ちゃんの“笑顔のじかん”

令和7年度
同窓会ミニレクチャーを
開催しました!

令和7年10月25日(土)に、出張専門助産院 あゆみ管理者・愛知医科大学看護学部第1期生のほった かな 氏をお招きし、「出張ケアで育むママと赤ちゃんの“笑顔のじかん”ー“あゆみ”の出張助産ケアに学ぶライフステージに寄り添うケアのあり方ー」をテーマとして、対面とオンラインのハイブリッドによるミニレクチャーを開催しました。

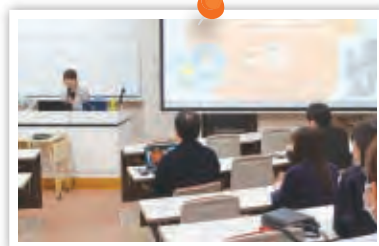
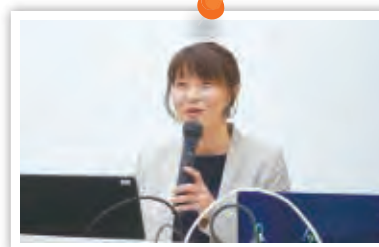
ミニレクチャーに参加して

助産師さんのお話を通して、助産師が地域の母子を支えるうえで果たす役割の大きさを学びました。助産師さんは、地域のお母さんたちが産後に抱える身体的負担や育児不安、サポート不足などの課題の多さを実感し、「地域で安心して出産・育児ができる環境をつくりたい」という思いから助産院を開設されたと同じ、助産師としての使命感の重要性を感じました。

また、妊娠中から産後まで切れ目なくケアを提供し、家庭訪問や相談支援など多様な場面で活動していることから、助産師の専門性の広がりについて理解を深めることができました。さらに、現代では健康妊婦が減少していることを背景に、妊娠前からの健康づくり、いわゆるプレコンセプションケアの重要性が高まっていることも学びました。

今回のミニレクチャーを通して、助産師は医療だけでなく地域全体を支える存在であると実感し、自分も地域のニーズを理解しながら関わる助産師になりたいと感じました。

愛知医科大学看護学部 4学年次 浜田 唯衣



令和9年度 愛知医科大学大学院 看護学研究科 学生募集案内

■ 修士課程

募集領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース	
基礎看護学	基礎看護学	修士論文	
	看護管理学		
母子看護学	母性看護学		
	小児看護学		
成人・老年看護学	慢性看護学		
精神・在宅・地域看護学	精神看護学		
	在宅看護学		
	地域看護学		
高度実践看護学	感染看護学		高度実践看護師(専門看護師[CNS])(※1)
	臨床実践看護学		高度実践看護師(診療看護師[NP])(※2)

日程

	日程
出願期間	令和8年 8月3日(月)～ 8月17日(月)
試験期日	令和8年 9月4日(金)

募集人員
15名

選抜方法 専門領域学力試験、小論文、面接、出願書類を総合して判定します。

出願資格

- 大学を卒業した方及び卒業見込みの方
- 短期大学、看護専門学校(3年課程)卒業の方も、出願資格認定審査を受けることにより、大学院を受験することができます。

※1高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース修了後は、公益社団法人日本看護協会の認定審査を受けられます。

※2高度実践看護師(診療看護師[NP])コース修了後は、特定行為研修修了者として厚生労働省に報告します。
また、一般社団法人日本NP教育大学院協議会が実施する「NP資格認定試験(プライマリケア・クリティカル領域)」の受験資格が得られます。

入試説明会(対面又はWeb参加可能のハイブリッド形式)

第1回

令和8年 **6月11日(木)**

18:30～20:15

第2回

令和8年 **6月27日(土)**

10:00～11:45

内容

大学院の概要、入試説明、科目等履修生説明、在学生・修了生のお話、その他個別相談に応じます。お気軽にご参加ください。

社会人の方が在職したまま就学できるよう「長期履修制度」の導入や、夜間その他特定の時間や時期において授業や研究指導を行っています。(ただし、高度実践看護師(診療看護師[NP])コースを除く。)

[入試説明特設ページはこちら▶](#)

学生募集要項 **無料配布中**です



■ 博士後期課程

募集領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	基礎看護学	PhDコース 及び DNPコース
	精神看護学	
	感染看護学	
成育・療養支援看護学	母子看護学	
	成人看護学	
	老年看護学	
包括・実践看護学	地域看護学	
	在宅看護学	
	臨床実践看護学	

日程

	日程
出願期間	令和8年 8月3日(月)～ 8月17日(月)
試験期日	令和8年 9月5日(土)

募集人員
4名

選抜方法 英語、専門領域学力試験、小論文、面接、出願書類を総合して判定します。

出願資格

- 博士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方及び授与される見込みの方
- その他、出願資格につきましてはホームページ又は募集要項をご確認ください。

入試説明会(対面又はWeb参加可能のハイブリッド形式)

第1回

令和8年 **6月19日(金)**

18:30～20:15

内容

大学院の概要、入試説明、在学生のお話、その他個別相談に応じます。お気軽にご参加ください。

社会人の方が在職したまま就学できるよう「長期履修制度」の導入や、夜間その他特定の時間や時期において授業や研究指導を行っています。

[博士後期課程についてはこちら▶](#)

学生募集要項 **無料配布中**です



同窓会マスコットキャラクター デザイン・名称決定!

令和8年3月14日(土)開催の同窓会理事会において、看護学部同窓会マスコットキャラクターの名称が「あいまる」に決定しました。令和7年4月から始まった本企画は、デザイン募集、デザイン投票、名称募集、名称投票を経て、多くの皆さまにご参加いただきながら、約1年をかけてついに名称決定まで至りました。

決定のポイント

「あいまる」は、まるみのあるキャラクターの印象に加え、愛知医科大学の「愛」及び看護の心を表す「愛」にちなみ考案された名称であり、親しみやすく呼びやすい点が評価されました。名称募集では19件の応募があり、同窓会役員による一次選考を経て選ばれた4案を対象に投票を実施した結果、「あいまる」が最多の50票を得て採用されました。

募集・投票の経緯

- デザイン募集 ▶ 令和7年4月1日～7月31日【14件の応募】
- デザイン投票 ▶ 令和7年8月1日～10月3日【188件の投票】
- デザイン決定 ▶ 令和7年10月25日
- 名称募集 ▶ 令和7年11月9日～12月26日【19件の応募】
- 名称投票 ▶ 令和8年2月3日～3月4日【115件の投票】
- 名称決定 ▶ 令和8年3月14日



同窓会
マスコットキャラクター
◀ あいまる

このマスコットキャラクターは、コミュニケーションを大切にする、まるくてやさしいクマをモチーフとしており、看護学部で育まれた出会いやつながり、癒しと安心感、そして母校とのあたたかな結びつきを表現しています。今後は、同窓会の広報物やイベント、記念品・グッズ、LINEスタンプ、オープンキャンパス、SNS等で順次活用し、同窓会の新たな“顔”として親しまれる存在となることが期待されます。

「同窓生インタビュー」

ホームページにて
「同窓生インタビュー」記事を公開して

いますので、ぜひご覧ください! ▶ <https://amukandou.jp/info/interview/>



令和8年度 事業計画



- 看護学部同窓会報18号の発行
- 令和8年度卒業生への卒業記念品贈呈
- 令和8年度卒業生への看護学部同窓会長賞記念品贈呈
- 卒業生への補助
- クラス会等への補助
- 保健師の会への補助
- ミニレクチャー等の交流企画
- ホームカミングデーの開催
- 看護学部との連携
- 看護学部同窓会広報活動

先輩の経験が背中を押す ～令和7年度 進路懇談会 開催～

令和7年12月23日(火)午前9時から、看護学部3学年次生を対象に「進路懇談会」が開催されました。今回の懇談会は、履歴書ブラッシュアップ講座、卒業生による体験談発表、進路相談会の3部構成で行われました。

履歴書講座では、(株)マイナビの講師を迎え、面接対策を含めた実践的な指導が行われました。

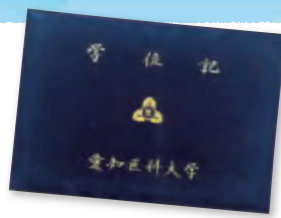
続いて、卒業生による体験談発表では、愛知医科大学病院で看護師として活躍する西本彩乃さん、助産師の小泉実希さん、大同病院勤務の坪井沙耶花さん、トヨタ自動車株式会社安全健康推進部健康推進室で保健師として働く長田実久さんが登壇し、進路決定の背景や現在の仕事内容についてお話しいただきました。

進路相談会では、卒業生が各分野別に分かれ、学生一人ひとりに対して具体的なアドバイスを送りました。

参加した学生からは「進路のイメージが具体的に変わった」、「自分に必要な準備が見えてきた」といった声が寄せられました。

今後も、看護学部同窓会は卒業生の経験や知見を活かし、在学生の進路選択を支援していきます。学生が安心して将来を描けるよう、卒業生とのつながりを深める機会を積極的に設け、進路実現に向けたサポートを続けてまいります。

同窓生だより



学部卒業生

私は愛知医科大学看護学部を卒業し、現在は大同病院の総合内科病棟で働いています。病棟には循環器や腎臓などの慢性疾患の患者様が多く、さまざまな疾患を抱えた患者様と関わりながら、1年目なりに安心感をお届けできるよう日々頑張っています。

この1年間、看護師として働く中で、自分のミスや知識・技術不足を痛感し、落ち込むこともたくさんありました。それでもここまで続けてこれたのは、つらい時に助け合いながら頑張ってきた同期の存在や、愛知医科大学時代の友達の存在が大きいです。仕事で落ち込んだ時も励まし合い、一緒に頑張ってくれたことで、「自分だけではない」と思えて、努力を続けることができました。

初めはできないことだらけでしたが、患者様から笑顔で感謝の言葉をいただいた時は本当にうれしく、看護師としてのやりがいを実感します。患者様の笑顔や「ありがとう」が、日々頑張るための大きな糧になっています。

今後は2年目として、知識や技術の幅をさらに広げられるよう自己学習に励み、自分自身の看護の質を高めていけるよう頑張りたいです。

22期生 2025年3月卒業 坪井 沙耶花

研究科修了生

私は2025年3月に、愛知医科大学大学院看護学研究科修士課程を修了しました。修士課程では、看護学生を対象に、不眠症の要因についてICT機器の使用に着目して調査し、学生の生活や学修を支えるための教育的支援について検討しました。在学中は、指導教員の先生方をはじめ、同期や多くの方に支えられながら、さまざまな学びを得ることができ、とても充実した時間となりました。

現在は、愛知医科大学看護学部 成人看護学領域の助教として勤務しており、講義や演習、実習指導に携わっています。教育の難しさややりがいを感じながら、学生との関わりを通して、自分自身も成長していけたらと思っています。

また、この4月からは愛知医科大学大学院看護学研究科博士後期課程に進学しています。修士課程での学びを土台に、より専門性の高い研究に取り組み、研究と教育の両面から研鑽を重ねていきたいと考えています。

2025年3月 看護学研究科 修士課程修了 中村 恵理

Editor's Note 18

編集後記

看護学部同窓会 副会長 下八重 和真 (第15期生)



同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。私自身は卒後9年目を迎え、愛知医科大学病院のGICUにおいて教育的な役割を担うことが多くなりました。臨床での責任が増すとともに、大学院での研究活動を通して自分自身を見つめ直し、忙しくも充実した毎日を過ごしております。

今年度、看護学部は新たに第23期生を同窓会に迎え入れました。医療現場を取り巻く環境は日々変化しておりますが、世代を超えて励まし合える同窓生のネットワークは、私たちにとって大きな財産です。今日までこの歴史を紡いでこられた同窓生、先生方、職員の皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

今年度の会報が、皆さまにとって、ふと立ち止まり母校とのつながりを再確認できるような、温かいものとなれば幸いです。今後も、皆さまにとって身近な同窓会組織となるよう、役員として微力ながら尽力してまいります。教職員、同窓生の皆さまの今後ますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。